



利益よりも人々を優先

- パネル 6 -

行政:

公共政策は売り物か？

質の高い公共サービスと民主的な政治には、独立した、倫理的な政策助言、優れた行政官、そして厳格な規制監督が必要である。公務員は政治的介入を受けてはならないこと、そして公共サービスは独立とサービスへの責任という確固たる文化を持たなければならないことは、経験と証拠によって示されている

緊急事態と災害に対する備えと回復力

しかしこれは変化しつつある。十分な資源を公共部門から奪うことを狙って数十年間続けられている緊縮政策と民間部門の方が効率的だと喧伝するプロパガンダによって行政の大黒柱の一部が侵食されてきた。政策の結果に金銭的な利害関係を持ち、上級公務員職と政府と企業との間で転職を繰り返す従業員を抱える大コンサルタント会社に政策づくりが外注される例が増えている。行政の空洞化は、腐敗、企業による政策の乗っ取り、および請負業者によるサービスの乗っ取りという事態を招く。民営化と外注化が中核的なスキルと民主的監督機能の喪失をもたらす。賃金の下落、訓練不足、不安定な雇用がこうした傾向をさらに悪化させる。

私たちは、政治的介入や既得権、政策乗っ取り、腐敗から自らを守るために、身分保障のある雇用を要求しなければならない。職員は、優れた助言とサービスを提供するために十分な訓練を受けなければならない、そして優れた職員を引き付け維持するためそして賄賂の誘惑に負けないために十分な報酬を与えられなければならない。サービスを提供するコミュニティの価値感と願望を反映する多様な労働者が必要である。

公務員が団結し、団体交渉する権利を確実に行使するには、十分な資源、強力な腐敗禁止政策、内部告発者に対する強制力のある法的保護が必要である。公務員は雇用に関する諸権利を行使できなければならない。